

日吉大社

日吉大社は神道の神である比叡山の神を祀っており、日本全国に見られる 3,800 社以上の日吉神社、日枝神社、山王神社の総本宮です。日吉大社は 2 千年の歴史を謳い、最も多い時には 108 柱ものさまざまな神を祀っていました。

神社の境内は樹木が生い茂りひっそりしており、境内を流れる大宮川の水の流れの音で、外界の音はかき消されます。秋には、境内の 3 千本以上の楓の木から落ちる鮮やかな紅葉の赤い葉に辺り一面覆われます。

神社の入り口には、日本最古の石橋と考えられている大宮橋があります。この橋は、以前の木造橋ともども神社が焼き払われた後、17 世紀後半に建造されました。この神社は、頂上に比叡山を表す三角形がある、特徴的な山王鳥居でも有名です。比叡山には野生の猿も多く、猿は山の神の使いと考えられています。

西本宮（西側の本宮）と東本宮（東側の本宮）の本殿は国宝に指定されています。両本殿の伝統的な檜皮屋根は 50 年ごとに葺き替えられます。どちらの本殿の前にも、400 年以上前にまで遡る、守護者たる 1 対の狛犬の像が置かれています。